

2025年度

事業計画書
収支予算書



公益社団法人

北海道酪農検定検査協会

I 2025年度事業計画

第1 基本方針

これまで2年間続いた生産抑制・減産型生産からの脱却など、明るい兆しの中でスタートした2024年度の生乳生産は、8月以降、前年を上回って推移しました。

また、食料・農業・農村基本法が四半世紀ぶりに改正され、基本理念や関連する基本的施策など、大幅な見直しで施行され、酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針（酪肉近）策定に向けた検討が大詰めを迎えております。

一方、依然として飼料はじめ資材価格の高止まりが続いており、加えて、個体販売価格が大きく下落したことから年末には指定団体出荷戸数が1万戸割れとなり、生産基盤の弱体化が懸念されています。

このため、国においても、食料安全保障の観点から、酪農の持続的な生産体制確保を目的に、国産飼料の生産及び利用拡大を中心とした施策を講じることから、これらを活用した各種対策を実施しながら、酪農・乳業が一丸となってこの危機を乗り越える必要があります。

このような中、当協会としましても、持続可能な酪農経営を基盤とした本道酪農の安定的な発展に寄与するため、2025年度は、以下の点を重点目標として業務を実施してまいります。

牛群検定事業については、安定した事業継続の実現に向け、多様化する現場のニーズを積極的に収集し、加入推進と離脱防止に引き続き取り組んでまいります。また、検定組合等が抱える各種課題に積極的に関与するとともに、検定業務の負担軽減を図るため検定簡易化の検討に継続して取り組みます。後代検定事業については、北海道乳牛改良委員会等と連携を図り、持続可能な事業のあり方を検討し全国に提言を行います。

生乳検査事業については、正確かつ公正な検査実施の基本となる検査精度確保に努めるとともに、検査業務の効率化に取り組む他、高品質生乳生産に資するために、北海道乳質改善協議会、地区乳質改善協議会と連携し、細菌数削減対策に取り組めます。総務関連では、第7期中期計画に沿って本会事業が円滑に進むよう、各部と連携を取っ

て業務を実施します。また、公益法人制度に係る法改正が行われたことを受け、求められる健全な組織運営に係る対応を図ります。これらを踏まえ、公益事業が安定的に継続できるよう、組織の体力を維持しながら業務の効率化を推進します。更に、コンプライアンスの遵守等、基本的な事項にも対応してまいります。

第2 事業実施計画

1 牛群検定事業関係

(1) 牛群検定事業

ア 牛群検定の推進

- 牛群検定は、98組合、検定農家3,300戸（前年対比96.1%）、検定牛34万2千頭（前年対比99.3%）規模を基に事業を展開する。
- 未加入農家を対象とした試行検定事業を活用し加入促進を図るとともに、既存農家の加入継続に向けた取り組みを強化する。
- 地区別検定組合長協議会、乳検連会長・事務局長会議等を開催し地区との連携強化を図る。
- 検定員養成研修会、地区別検定員研修会等の実施により、牛群検定事業の基盤を支える人材育成を図る。

イ 乳牛検定組合に対する支援

- 検定成績の信頼性確保のため、検定実務に係る指導等を実施する。
- 補助事業の実施により組合運営の財源を安定確保するとともに、各組合の財務実態を調査し、運営課題の共有と助言を行う。
- 検定員不足の解消と事務局業務の効率化に向け、検定組合の広域連携などに積極的に関与する。

ウ 検定業務の効率化の促進

- 大規模農家等の加入促進と離脱防止を図るため、情報を広く収集し、実態に即した検定手法の検討を継続する。道内で集約した要望等は、乳用牛群検定全国協議会に適宜提案する。
- AZ法や任意サンプル瓶を用いた検定など、既存の簡易化手法の普及を積極的に行う。

- 検定での報告省力化を図るため、NOSAI繁殖情報との連携を推進する。

エ 検定情報活用の支援

- 組合等が開催する研修会等に講師を派遣し、牛群検定WebシステムDL等を軸にして検定情報の利用促進を図る。
- 新規加入農家に対する情報活用の支援を強化し、定着を図る。
- 地域の核となる技術者との連携を強化し、検定情報の利用場面の拡大を図る。
- 生乳検査部・事業所と連携し、乳検PAGs検査オプションを検定加入メリットとして積極的に訴求し利用促進を図る。

オ 新たな付加価値の提供に係る取り組み

- 過年度から取り組んできた検定成績表の改訂について、システム開発を完了し、活用資料の配布、現地研修の開催等を通じて広く周知を行う。
- 搾乳ロボット導入農家及び大規模農場等のニーズを収集し、これに対応した情報提供の手法を検討する。
- 検定組織の運営及び情報の提供方法等について国内外の牛群検定組織の情報を収集、検討する。

(2) 後代検定事業の推進業務

- 北海道乳牛改良委員会の他、全国段階の会議体に参画し、検定農家の理解が得られる後代検定システムの構築に向けた提言を行う。
- 調整交配、ゲノミック選抜等の理解醸成を図ることと併せて、未經産SNP事業や道費事業を積極的に活用し、技術の普及・定着を図る。

(3) 電子計算業務

ア 検定情報処理システムの補完と開発

- 検定業務の省力化、利便性の向上に繋がる牛群検定システムの補完と開発を継続し、検定組合と本会双方の業務効率化を図る。
- 検定情報の付加価値向上とWebによる情報活用促進のため、新しい情報の提供や利便性の向上に繋がるシステム開発を行う。

イ 牛群検定データを用いた調査研究

- 検定簡易化手法の開発、より精度の高い成績計算手法の調査及び新しい提供情報の検討等に必要となるデータ分析業務に長期的かつ継続して取り組むための業務体制を整備する。
- 乳牛の健全性に関するBHBや脂肪酸組成等の乳成分測定値、搾乳ロボットから得られる測定値等の新たな情報に関する基礎的な調査研究を継続する。
- 大学、研究機関等との共同研究及び学会発表や学会誌への投稿を通じて、分析技術の向上を図るとともに、外部専門家の意見並びに各方面からのニーズを反映させた信頼性の高い調査・分析を行う。

2 生乳検査事業関係

(1) 生乳検査事業

ア 合乳検査

- 公正な生乳取引と生乳流通の合理化に資するため、生乳生産者団体等及び乳業者からの申請により、合乳検査を実施する。
- 検査対象乳量は、403万8千トン（2024年度見込み対比102.0%）とする。

イ 個乳検査

- 乳代配分及び乳質改善に資するため、生乳生産者団体等からの申請により、個乳検査を実施する。
- 検査対象乳量は、268万3千トン（2024年度見込み対比102.0%）とする。

ウ 個体乳検査

- 乳牛の改良と酪農生産基盤の強化に資するため、乳牛検定組合等からの申請により、個体乳検査を実施する。
- 検査対象検体数は、226万6千頭（2024年度見込み対比100.4%）とする。

エ 付帯検査

- 合乳及び個乳検査対象生乳の品質を補完するため、これら契約者からの申請により、各種生乳検査を実施する。

オ 申請検査

- 生乳生産基盤及び生乳トレーサビリティの強化並びに生乳流通体制の合理化に資することを目的とし、乳業者あるいは生乳生産者団体等から申請のあった各種生乳検査を実施する。

カ 検査用資材の提供

- 合乳並びに個乳検査契約者からの申請により、生乳検査業務規程に示す検査用資材を提供する。

(2) 乳質改善等に係る業務

ア 乳質改善協議会への協力

- 高細菌数防止、抗菌性物質残留防止、異常乳発生防止、乳房炎防除並びに生乳集荷業務及び庭先検査の向上等への対策に協力するとともに各種講習会へ講師を派遣する。
- Hokkaido Milk Summit、ミルカー管理技術指導者講習会、集荷業務担当者講習会等の各種講習会、委員会並びに各地区で実施される事業に協力する。

イ 道外向け生乳の乳質向上への取り組み

- 地区乳質改善協議会と連携し、道外移出乳の安定的な品質確保を目的に実施される衛生的乳質（生菌数）の改善対策に継続して取り組む。

ウ 他団体が所有する生乳検査機器等のクロスチェックと校正指導

- ホクレン農業協同組合連合会（以下 ホクレン）からの依頼に基づき、生乳生産者団体が所有する乳成分・体細胞数測定機及び細菌数測定機のクロスチェック（年4回）を行う。
- 乳業者が所有する乳成分測定機についてクロスチェック（年6回）を実施する。
- クロスチェック実施団体と精度管理に係る情報共有を図る。

エ 生乳の風味向上への取り組み

- 異常風味発生時における官能検査の対応並びに農場段階での原因究明に資するため、発生事例の蓄積を行い関係機関との情報共有を図る。
- 関係機関による異常風味の発生防止並びに原因究明に係る取り組みに積極

的に協力する。

- 生乳の格付け検査として重要な位置づけである風味検査について、全検査員を対象にトレーニングを実施し、分析型パネリストを養成する。

オ 生乳取扱者技術認定講習会の開催

- 北海道の生乳取扱者技術認定事業実施要綱に基づき、生乳取扱者の生乳に関する基礎知識及び生乳検査技術の水準向上を図るため、北海道生乳取扱者技術認定講習会を開催する。
- 生乳取扱技術必携は2019年の改訂から6年が経過し、新しい検査項目や酪農分野の技術発展に対応するため改訂を行う。

(3) 安全・安心に向けた取り組み

ア 生乳のトレーサビリティに係る協力

- ホクレンが運用する生乳トレーサビリティシステムに対して、本会情報システムを介しての乳量・乳温情報の供給並びに検査データの提供等を行うことで協力する。

イ ポジティブリスト制度に係る対応

- 生乳の安全・安心の確保を目的として取り進められている生乳生産履歴の記帳・記録の推進に協力するため、記帳様式の改善や搾乳衛生管理状況、農薬・動物用医薬品等使用記録と保管状況の現地検証に積極的に参加する。
- (一社)Jミルクが全国段階で行う農薬等の検査並びにホクレンの依頼に基づき、農薬等の残留検査に協力する。

(4) 調査試験業務

ア 生乳検査精度管理の充実強化

- 国際規格ISO/IEC17025試験所認定の規格に基づいた精度管理を基本としたうえで、(公財)日本乳業技術協会が実施する生乳検査精度管理認証制度の認証施設として、作業標準等に基づく適正な精度管理を行う。
- 公定法による乳成分検査に関わる国際的な技能試験を受験し、正確な検査精度の維持に努める。

イ 種別体細胞数（DSCC）に係る調査試験

- 新型の体細胞数測定機に搭載される種別体細胞数情報について、継続して諸外国の情報を収集するとともに、活用方法に係る調査試験を実施する。

(5) 効率的な検査体制の構築

- 生乳生産基盤の強化に資する合理的な生乳検査体制構築のために、測定機稼働率の向上に取り組み、検査業務の効率化を進める。
- 災害の発生や測定機のトラブルにより検査機能を失った場合においても、検査事業の継続が可能となるよう事業所間のバックアップ体制を整備する。

(6) 道産食品独自認証制度への対応

- 道が推進する道産食品独自認証制度の登録検査機関として、引き続きナチュラルチーズの認証に係る審査実務の取り組みを行う。

3. 総務部関係

(1) 組織運営関係

ア 新たな公益法人制度への対応

- 2025年4月より施行される公益法人制度に係る法改正に伴い、求められる財務規律の遵守や健全で公正な組織運営を実現するための措置を講じ、制度改正に基づく体制構築に努める。

イ 中期計画の推進

- 第7期業務運営に係る中期計画の2年目となる今年度は、1年目の進捗状況を確認し、関係各部と連携のうえ計画を推進する。

ウ 業務効率化の推進

- 本会の使命である公益事業を継続できるよう、組織の体力を維持するため、引き続き業務効率化を推進し、現下の酪農情勢等に柔軟に対応できる組織づくりを進める。

(2) 基本事項への対応

- 公益法人としてのコンプライアンスの徹底を図るとともに、組織運営の基盤となる人材の育成について教育研修等を通じて取り組む他、働き方改革等へも柔軟に対応していく。
- 全職員に対して、個人情報の保護に係る対応の周知・徹底を行ない、eラーニングを活用して必要な研修を受講させるとともにネットワーク並びに保有情報等に対する管理を行う。
- ホームページにおいて本会情報の発信に努めるとともに、機関誌「検定検査乳s」を定期的に発行し、酪農・乳業への有効な情報提供に努める。

(3) システム管理

- 基盤システム及びネットワークの動作監視、運用管理を継続し、安定した業務環境の提供とセキュリティー管理に努める。
- 今後、高騰が見込まれるシステム運用費への対策を講じるとともに、将来を見据えたシステム構築に向けての情報収集を行う。

Ⅱ 2025年度収支予算 (損益ベース)

収支予算書（損益ベース）

（2025年4月1日から2026年3月31日）

（単位：千円）

科 目	予 算 額 (a)	前年度予算額 (b)	増 減 (a)-(b)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産運用益	5	5	0
特定資産受取利息	5	5	0
② 受取会費	250	250	0
受取会費	250	250	0
③ 検定事業収益	199,458	201,198	△ 1,740
検定納付金	151,212	152,288	△ 1,076
検定成績利用料収益	31,500	31,500	0
繁殖情報等利用料収益	9,800	10,015	△ 215
検定情報直送利用料収益	0	2,475	△ 2,475
雑収益	6,946	4,920	2,026
④ 検査事業収益	1,058,492	1,064,226	△ 5,734
合乳検査手数料	399,762	398,970	792
個乳検査手数料	324,622	324,159	463
個体乳検査手数料	137,095	135,338	1,757
付帯検査手数料	61,389	64,372	△ 2,983
検査用資材提供料	15,180	15,180	0
申請検査手数料	118,061	124,128	△ 6,067
雑収益	2,383	2,079	304
⑤ 受託事業収益	14,447	72,769	△ 58,322
乳用種雄牛後代検定事業受託収益	11,147	12,000	△ 853
乳用牛改良体制強化対策事業受託収益	3,300	3,300	0
酪農経営支援総合対策事業収益（遺伝的能力）	0	53,396	△ 53,396
酪農経営支援総合対策事業収益（飼養管理）	0	1,833	△ 1,833
泌乳前期健全性改善指標開発受託収益	0	2,240	△ 2,240
⑥ 受取補助金等	0	62,231	△ 62,231
牛群改良加速化補助事業収益	0	36,953	△ 36,953
スレ子（調整交配）補助事業収益	0	25,278	△ 25,278
⑦ 雑収益	4,128	3,116	1,012
受取利息	1,108	262	846
住宅貸付料	2,880	2,694	186
雑収益	140	160	△ 20
経常収益計	1,276,780	1,403,795	△ 127,015

(単位：千円)

科	目	予 算 額 (a)	前年度予算額 (b)	増 減 (a)-(b)
(2) 経常費用				
① 事業費・管理費		1,262,633	1,268,795	△ 6,162
	(人 件 費)	525,218	522,909	2,309
	役 員 報 酬	6,300	6,300	0
	給 料 手 当	424,678	413,843	10,835
	法 定 福 利 費	65,570	65,264	306
	福 利 厚 生 費	5,257	4,777	480
	退 職 給 付 費 用	23,413	32,725	△ 9,312
	(事 業 推 進 費)	737,415	745,886	△ 8,471
	会 議 費	1,115	1,226	△ 111
	交 際 費	388	428	△ 40
	旅 費 交 通 費	12,183	12,038	145
	教 育 研 修 費	6,604	6,624	△ 20
	通 信 運 搬 費	34,970	36,836	△ 1,866
	減 価 償 却 費	122,865	123,026	△ 161
	消 耗 品 費	146,091	148,293	△ 2,202
	備 品 費	6,073	6,258	△ 185
	修 繕 費	10,338	11,986	△ 1,648
	印 刷 製 本 費	4,313	2,037	2,276
	新 聞 図 書 費	2,744	2,784	△ 40
	車 輛 関 連 費	2,132	2,084	48
	水 道 光 熱 費	31,494	33,511	△ 2,017
	リ ー ス 料	10,108	9,629	479
	地 代 ・ 家 賃	98,910	100,351	△ 1,441
	委 託 費	151,493	165,144	△ 13,651
	保 険 料	3,116	2,284	832
	諸 謝 金	684	373	311
	検 定 情 報 直 送 費	1,420	1,448	△ 28
	牛 群 検 定 指 導 費	5,110	4,921	189
	後 代 検 定 指 導 費	1,410	1,413	△ 3
	助 成 金	4,800	4,800	0
	租 税 公 課	72,836	61,908	10,928
	負 担 金	1,887	1,972	△ 85
	雑 費	4,331	4,512	△ 181

(単位：千円)

科	目	予算額 (a)	前年度予算額 (b)	増減 (a)-(b)
②	受託事業費	14,147	72,769	△ 58,622
	乳用種雄牛後代検定 事業受託費	11,147	12,000	△ 853
	乳用牛改良体制強化 対策事業受託費	3,000	3,300	△ 300
	酪農経営支援総合対策 事業費(遺伝的能力)	0	53,396	△ 53,396
	酪農経営支援総合対策 事業費(飼養管理)	0	1,833	△ 1,833
	泌乳前期健全性改善 指標開発受託事業費	0	2,240	△ 2,240
③	補助事業費	0	62,231	△ 62,231
	牛群改良加速化 補助事業費	0	36,953	△ 36,953
	スレ子(調整交配) 補助事業費	0	25,278	△ 25,278
経常費用計		1,276,780	1,403,795	△ 127,015
当期経常増減額		0	0	0

(単位：千円)

科	目	予算額 (a)	前年度予算額 (b)	増減 (a)-(b)
2. 経常外増減の部				
①	経常外収益	0	0	0
	経常外収益	0	0	0
②	経常外費用	0	0	0
	経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額		0	0	0
当期一般正味財産増減額		0	0	0
一般正味財産期首残高		1,627,246	1,626,686	560
一般正味財産期末残高		1,627,246	1,626,686	560
Ⅱ 正味財産期末残高		1,627,246	1,626,686	560

(別記)

2025年度検定納付金賦課基準(税別)

1. 基準

(1) 立会検定農家

戸数割		1戸につき	6,000円
頭数割	59頭までは	1頭につき	450円
	60～79頭までは	1頭につき	400円
	80～119頭までは	1頭につき	350円
	120～239頭までは	1頭につき	300円
	240頭以上は	1頭につき	270円

(注) 自動検定農家については立会検定農家と同額とする。

(2) 自家検定農家

戸数割		1戸につき	1,000円
頭数割		1頭につき	325円

2. 納入時期

2025年9月30日までとする。

収支予算書内訳表

(2025年4月1日から)

科 目	公益目的事業会計		
	2025年度予算額 (a)	前年度予算額 (b)	増 減 (a)-(b)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産運用益	0	0	0
	特定資産受取利息	0	0
② 受取会費	0	0	0
	受取会費	0	0
③ 検定事業収益	188,868	189,783	△ 915
	検定納付金	142,894	143,431
	検定成績利用料収益	29,767	29,668
	繁殖情報等利用料収益	9,261	9,433
	検定情報直送利用料収益	0	2,331
	雑収益	6,946	4,920
④ 検査事業収益	1,000,395	1,002,454	△ 2,059
	合乳検査手数料	377,771	375,767
	個乳検査手数料	306,765	305,307
	個体乳検査手数料	129,553	127,467
	付帯検査手数料	58,012	60,628
	検査用資材提供料	14,345	14,297
	申請検査手数料	111,566	116,909
	雑収益	2,383	2,079
⑤ 受託事業収益	14,447	72,769	△ 58,322
	乳用種雄牛後代検定 事業受託収益	11,147	12,000
	乳用牛改良体制強化 対策事業受託収益	3,300	3,300
	酪農経営支援総合対策 事業収益(遺伝的能力)	0	53,396
	酪農経営支援総合対策 事業収益(飼養管理)	0	1,833
	泌乳前期健全性改善 指標開発受託収益	0	2,240
⑥ 受取補助金等	0	62,231	△ 62,231
	牛群改良加速化 補助事業収益	0	36,953
	又レ子(調整交配) 補助事業収益	0	25,278
⑦ 雑収益	0	0	0
	受取利息	0	0
	住宅貸付料	0	0
	雑収益	0	0
経常収益計	1,203,710	1,327,237	△ 123,527

(損益ベース)

2026年3月31日)

(単位：千円)

法人会計			内部消去 (e)	合 計		
2025年度予算額 (c)	前年度予算額 (d)	増 減 (c)-(d)		2025年度予算額 (a)+(c)+(e) = (f)	前年度予算額 (b)+(d) = (g)	増減 (f)-(g)
5	5	0		5	5	0
5	5	0		5	5	0
250	250	0		250	250	0
250	250	0		250	250	0
10,590	11,415	△ 825		199,458	201,198	△ 1,740
8,318	8,857	△ 539		151,212	152,288	△ 1,076
1,733	1,832	△ 99		31,500	31,500	0
539	582	△ 43		9,800	10,015	△ 215
0	144	△ 144		0	2,475	△ 2,475
0	0	0		6,946	4,920	2,026
58,097	61,772	△ 3,675		1,058,492	1,064,226	△ 5,734
21,991	23,203	△ 1,212		399,762	398,970	792
17,857	18,852	△ 995		324,622	324,159	463
7,542	7,871	△ 329		137,095	135,338	1,757
3,377	3,744	△ 367		61,389	64,372	△ 2,983
835	883	△ 48		15,180	15,180	0
6,495	7,219	△ 724		118,061	124,128	△ 6,067
0	0	0		2,383	2,079	304
0	0	0		14,447	72,769	△ 58,322
0	0	0		11,147	12,000	△ 853
0	0	0		3,300	3,300	0
0	0	0		0	53,396	△ 53,396
0	0	0		0	1,833	△ 1,833
0	0	0		0	2,240	△ 2,240
0	0	0		0	62,231	△ 62,231
0	0	0		0	36,953	△ 36,953
0	0	0		0	25,278	△ 25,278
4,128	3,116	1,012		4,128	3,116	1,012
1,108	262	846		1,108	262	846
2,880	2,694	186		2,880	2,694	186
140	160	△ 20		140	160	△ 20
73,070	76,558	△ 3,488		1,276,780	1,403,795	△ 127,015

科 目	公益目的事業会計		
	2025年度予算額 (a)	前年度予算額 (b)	増 減 (a)-(b)
(2) 経常費用			
① 事業費・管理費	1,189,563	1,192,237	△ 2,674
(人 件 費)	501,956	500,296	1,660
役 員 報 酬	2,000	2,000	0
給 料 手 当	411,513	401,014	10,499
法 定 福 利 費	63,406	63,110	296
福 利 厚 生 費	2,280	2,363	△ 83
退 職 給 付 費 用	22,757	31,809	△ 9,052
(事 業 推 進 費)	687,607	691,941	△ 4,334
会 議 費	451	510	△ 59
交 際 費	0	0	0
旅 費 交 通 費	6,106	5,955	151
教 育 研 修 費	1,207	1,199	8
通 信 運 搬 費	33,984	35,915	△ 1,931
減 価 償 却 費	120,283	120,823	△ 540
消 耗 品 費	145,244	147,304	△ 2,060
備 品 費	5,473	2,378	3,095
修 繕 費	9,738	10,919	△ 1,181
印 刷 製 本 費	2,920	797	2,123
新 聞 図 書 費	1,542	1,575	△ 33
車 輛 関 連 費	2,132	2,084	48
水 道 光 熱 費	28,741	30,367	△ 1,626
リ ー ス 料	9,828	9,089	739
地 代 ・ 家 賃	89,030	90,471	△ 1,441
委 託 費	140,723	153,910	△ 13,187
保 険 料	2,051	1,704	347
諸 謝 金	634	373	261
検 定 情 報 直 送 費	1,420	1,448	△ 28
牛 群 検 定 指 導 費	5,110	4,921	189
後 代 検 定 指 導 費	1,410	1,413	△ 3
助 成 金	4,800	4,800	0
租 税 公 課	72,676	61,748	10,928
負 担 金	0	0	0
雑 費	2,104	2,238	△ 134

(単位：千円)

法人会計			内部消去 (e)	合 計		
2025年度予算額 (c)	前年度予算額 (d)	増 減 (c)-(d)		2025年度予算額 (a)+(c)+(e)=(f)	前年度予算額 (b)+(d)=(g)	増減 (f)-(g)
73,070	76,558	△ 3,488		1,262,633	1,268,795	△ 6,162
23,262	22,613	649		525,218	522,909	2,309
4,300	4,300	0		6,300	6,300	0
13,165	12,829	336		424,678	413,843	10,835
2,164	2,154	10		65,570	65,264	306
2,977	2,414	563		5,257	4,777	480
656	916	△ 260		23,413	32,725	△ 9,312
49,808	53,945	△ 4,137		737,415	745,886	△ 8,471
664	716	△ 52		1,115	1,226	△ 111
388	428	△ 40		388	428	△ 40
6,077	6,083	△ 6		12,183	12,038	145
5,397	5,425	△ 28		6,604	6,624	△ 20
986	921	65		34,970	36,836	△ 1,866
2,582	2,203	379		122,865	123,026	△ 161
847	989	△ 142		146,091	148,293	△ 2,202
600	3,880	△ 3,280		6,073	6,258	△ 185
600	1,067	△ 467		10,338	11,986	△ 1,648
1,393	1,240	153		4,313	2,037	2,276
1,202	1,209	△ 7		2,744	2,784	△ 40
0	0	0		2,132	2,084	48
2,753	3,144	△ 391		31,494	33,511	△ 2,017
280	540	△ 260		10,108	9,629	479
9,880	9,880	0		98,910	100,351	△ 1,441
10,770	11,234	△ 464		151,493	165,144	△ 13,651
1,065	580	485		3,116	2,284	832
50	0	50		684	373	311
0	0	0		1,420	1,448	△ 28
0	0	0		5,110	4,921	189
0	0	0		1,410	1,413	△ 3
0	0	0		4,800	4,800	0
160	160	0		72,836	61,908	10,928
1,887	1,972	△ 85		1,887	1,972	△ 85
2,227	2,274	△ 47		4,331	4,512	△ 181

科 目	公益目的事業会計		
	2025年度予算額 (a)	前年度予算額 (b)	増 減 (a)-(b)
② 受託事業費	14,147	72,769	△ 58,622
乳用種雄牛後代検定費	11,147	12,000	△ 853
乳用策牛改良体制強化費	3,000	3,300	△ 300
酪事農業費(支援的総合対策)	0	53,396	△ 53,396
酪事農業費(飼養総合対策)	0	1,833	△ 1,833
泌指乳前開発健全性改善費	0	2,240	△ 2,240
③ 補助事業費	0	62,231	△ 62,231
牛補助群改良事加業速化費	0	36,953	△ 36,953
又レ子(調整交配)費	0	25,278	△ 25,278
経 常 費 用 計	1,203,710	1,327,237	△ 123,527
当 期 経 常 増 減 額 会 計 別	0	0	0

科 目	公益目的事業会計		
	2025年度予算額 (a)	前年度予算額 (b)	増 減 (a)-(b)
2. 経常外増減の部			
① 経常外収益	0	0	0
経 常 外 収 益	0	0	0
② 経常外費用	0	0	0
経 常 外 費 用	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高			
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高			
Ⅱ 正 味 財 産 期 末 残 高			

(単位：千円)

法人会計			内部消去 (e)	合 計		
2025年度予算額 (c)	前年度予算額 (d)	増 減 (c)-(d)		2025年度予算額 (a)+(c)+(e)=(f)	前年度予算額 (b)+(d)=(g)	増減 (f)-(g)
0	0	0		14,147	72,769	△ 58,622
0	0	0		11,147	12,000	△ 853
0	0	0		3,000	3,300	△ 300
0	0	0		0	53,396	△ 53,396
0	0	0		0	1,833	△ 1,833
0	0	0		0	2,240	△ 2,240
0	0	0		0	62,231	△ 62,231
0	0	0		0	36,953	△ 36,953
0	0	0		0	25,278	△ 25,278
73,070	76,558	△ 3,488		1,276,780	1,403,795	△ 127,015
0	0	0		0	0	0

(単位：千円)

法人会計			内部消去 (e)	合 計		
2025年度予算額 (c)	前年度予算額 (d)	増 減 (c)-(d)		2025年度予算額 (a)+(c)+(e)=(f)	前年度予算額 (b)+(d)=(g)	増減 (f)-(g)
0	0	0		0	0	0
0	0	0		0	0	0
0	0	0		0	0	0
0	0	0		0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
				1,627,246	1,626,686	560
				1,627,246	1,626,686	560
				1,627,246	1,626,686	560

2025年度固定資産の取得について

1. 建物付属設備 (単位：千円)

No.	資 産 名	規 格 等	数 量	金 額	摘 要
1	物置		1 台	470	道央事業所 (旭川事務所)
合 計				470	

2. 機器・備品 (単位：千円)

No.	資 産 名	規 格 等	数 量	金 額	摘 要
1	業務用冷蔵庫	ホシザキ	2 台	996	各乳業工場
2	業務用冷蔵庫	ホシザキ	4 台	2,094	道央、函館
3	試料加温用恒温槽	特注	1 台	1,100	道北事業所
4	空調機用軟水装置	ミウラ工業	1 台	256	乳牛検定部
合 計				4,446	

3. ソフトウェア (単位：千円)

No.	資 産 名	規 格 等	数 量	金 額	摘 要
1	生乳検査システム開発	機能改修・拡張等	1 式	13,617	生乳検査部
2	牛群検定システム開発	機能改修・拡張等	1 式	16,280	乳牛検定部
3	ソフトウェア購入・バージョンアップ等	開発ライセンス等		5,968	総務部 (システム管理課)
合 計				35,865	